

I 第21週の発生動向 (2017/5/22~2017/5/28)

1. 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内で**注意報**が解除されましたが、定点当たり報告数が他の保健所管内より多い状態が続いていますので、引き続き注意が必要です。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較して多い状態が続いていますので注意が必要です。
3. 水痘については、県全体の定点当たり報告数が前週の4倍以上(0.19→0.79)に増加しました。特に三戸地方+八戸市保健所管内で増加していますので、注意が必要です。
4. マイコプラズマ肺炎については、むつ保健所管内で定点当たり報告数が2週連続して増加していますので、注意が必要です。

II 第21週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科																
インフルエンザ	4	0.31	18	1.20	23	1.53			23	2.56	2	0.33	70	1.08	-16	
小児科	RSウイルス感染症		1	0.11	1	0.10			1	0.17			3	0.07	-1	
	咽頭結膜熱	3	0.38	2	0.22	4	0.40	5	1.00	1	0.17	1	0.25	16	0.38	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1.00	24	2.67	21	2.10	10	2.00	5	0.83	9	2.25	77	1.83	-39
	感染性胃腸炎	69	8.63	21	2.33	49	4.90	61	12.20	8	1.33	31	7.75	239	5.69	-26
	水痘	11	1.38	5	0.56	12	1.20	5	1.00					33	0.79	25
	手足口病	2	0.25							6	1.00			8	0.19	3
	伝染性紅斑	9	1.13							1	0.17	1	0.25	11	0.26	-1
	突発性発しん	4	0.50	6	0.67	7	0.70			6	1.00	5	1.25	28	0.67	13
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	2	0.25	2	0.22	1	0.10							5	0.12	3
流行性耳下腺炎			1	0.11			1	0.20	7	1.17	6	1.50	15	0.36	-14	
眼科																
急性出血性結膜炎															0	
流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00							4	0.36	3	
基幹																
クラミジア肺炎															0	
細菌性髄膜炎															0	
マイコプラズマ肺炎					1	1.00	1	1.00	1	1.00	7	7.00	10	1.67	5	
無菌性髄膜炎															0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)											1	1.00	1	0.17	-2	

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

流行性耳下腺炎 (五類定点把握対象疾患)

流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスによる感染症で、両側又は片側の耳下腺(耳の下にある唾液腺)が腫れ、「おたふくかぜ」とも呼ばれています。

ムンプスウイルスは接触や飛沫感染で伝搬し、強い感染力を持ちます。潜伏期間は2~3週間です。耳下腺の腫れは痛みを伴い、境界不鮮明な柔らかい腫れが耳を中心として起こります。ものをかむときにあごの痛みを訴えることが多く、数日の発熱を伴います。合併症としては、無菌性髄膜炎があり、成人男性には睾丸炎、成人女子には卵巣炎がみられることがあります。

流行性耳下腺炎及びその合併症の治療は基本的に対症療法で、効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法です。青森県における年齢別報告数は例年、5歳をピークとした10歳未満がほとんどですので、集団生活に入る前にワクチンで予防しておくことが最も有効な感染予防です。

なお、流行性耳下腺炎の予防接種は任意接種ですので、費用は原則自己負担となりますが、助成制度を設けている市町村もありますので、お住まいの市町村予防接種担当課にお問い合わせください。

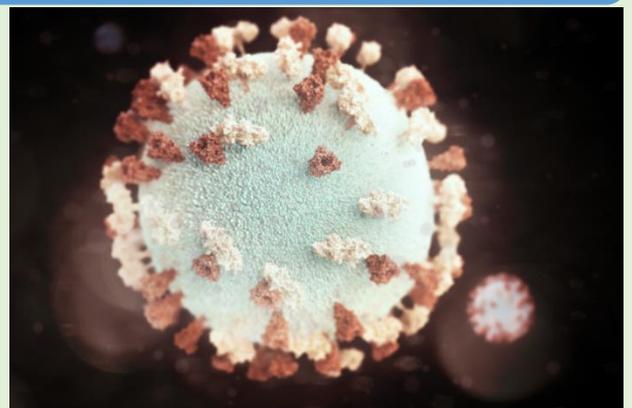


図: ムンプスウイルスの3Dイメージ

出典: CDC アメリカ疾病予防管理センターHP

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：八戸市1人、三戸地方2人、弘前3人 (2017年計:121人)
- ・つつが虫病(四類全数把握疾患)：青森市1人、三戸地方1人、五所川原1人 (2017年計:4人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：青森市2人、八戸市1人 (2017年計:33人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

熱性けいれん患者(鼻汁、5/5)・・・HHV6B：八戸市1人
急性脳炎患者(血液、5/9)・・・HHV7：弘前1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報(2017年第4週～2017年第21週)

- ・第21週の患者報告数は70人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは70人【A型：22人、B型：48人】でした。

保健所管内別報告数(人)

週	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
保健所名																		
東地方+青森市	244	370	435	372	336	294	151	100	70	58	53	62	31	39	53	28	7	4
弘前	370	336	290	183	111	123	153	152	120	103	93	56	47	36	12	6	15	18
三戸地方+八戸市	363	412	384	287	209	219	205	122	72	84	72	56	68	36	28	37	41	23
五所川原	143	160	223	127	55	52	52	80	97	67	33	34	40	28	10	10	1	
上十三	343	330	346	278	189	133	124	160	156	178	55	26	28	24	18	13	15	23
むつ	189	335	284	255	177	157	125	67	27	27	24	21	33	15	23	13	7	2
合計	1652	1943	1962	1502	1077	978	810	681	542	517	330	255	247	178	144	107	86	70

A型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
保健所名																		
東地方+青森市	232	365	427	362	322	290	146	96	64	51	47	48	25	21	26	7	4	
弘前	370	336	289	183	111	122	152	146	115	97	77	42	31	24	6	3	13	18
三戸地方+八戸市	333	362	364	268	201	212	195	114	64	64	54	21	23	4	11	9	5	3
五所川原	143	160	223	127	55	51	52	80	96	65	27	14	18	4	2	3	1	
上十三	325	311	326	251	172	111	112	145	140	160	43	18	17	8	4			1
むつ	189	334	282	255	177	152	123	63	25	16	22	20	25	6	1	3		
合計	1592	1868	1911	1446	1038	938	780	644	504	453	270	163	139	67	50	25	23	22

B型(迅速診断キットによる型別)(人)

週	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
保健所名																		
東地方+青森市	1	1	1		2		2	2	4	4	6	14	6	18	19	20	3	4
弘前			1			1	1	6	5	15	16	14	16	12	6	3	2	
三戸地方+八戸市	7	20	5	5	4		6	4	7	15	18	33	45	29	17	28	36	20
五所川原						1			1	2	6	20	22	24	8	7		
上十三	1	3	3	5	10	11	4	9	7	12	7	7	7	8	14	13	15	22
むつ		1	2			5	2	4	2	11	2	1	8	9	22	10	7	2
合計	9	25	12	10	16	18	15	25	26	59	55	89	104	100	86	81	63	48

年齢区分別(人)

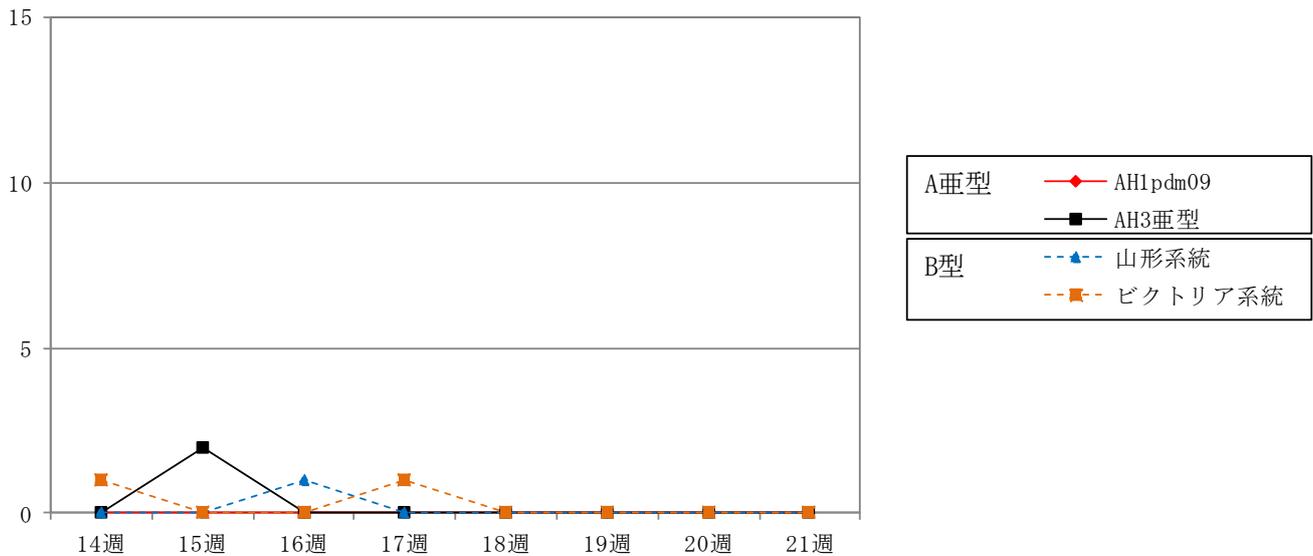
週	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
～5ヶ月	5	6	4	3	3	5	2	3	1	2	3		1					1
～11ヶ月	9	15	15	18	10	4	7	10	9	6	9	5	1	2	2	1		
1歳	42	62	64	49	44	32	12	41	14	15	14	13	10	5	5	3	4	1
2歳	39	46	87	59	39	33	22	25	16	25	19	18	19	4	5	4	4	3
3歳	53	77	99	73	48	52	31	36	15	33	20	13	11	3	3	8	4	2
4歳	65	83	81	80	60	37	52	29	26	40	18	27	21	11	6	6	9	4
5歳	77	68	83	69	72	53	33	30	23	37	30	22	15	11	6	8	2	6
6歳	47	92	84	82	81	47	52	37	23	21	16	9	11	6	17	5	4	6
7歳	78	83	98	68	32	50	23	43	21	20	6	10	17	16	12	3	1	1
8歳	80	93	94	83	46	38	27	23	21	24	10	11	14	9	5	6	4	3
9歳	85	96	95	80	53	48	44	29	15	19	6	8	10	6	3		3	4
10～14歳	428	475	431	257	189	194	135	103	80	60	25	21	23	34	22	27	34	30
15～19歳	162	152	115	75	46	66	48	34	29	17	14	8	9	7	6	2	3	
20～29歳	56	67	93	81	43	30	38	28	19	24	15	11	9	8	7	2	1	1
30～39歳	104	117	108	90	75	59	57	54	55	30	32	13	15	10	14	9	1	1
40～49歳	90	124	123	82	60	50	52	41	40	35	15	13	8	11	7	6	8	6
50～59歳	71	78	95	86	65	54	38	24	28	29	24	18	16	11	5	4	1	
60～69歳	55	90	78	72	47	45	54	35	31	30	21	13	12	7	8	3	1	1
70～79歳	51	66	49	41	24	37	37	21	40	26	11	12	9	5	2	7	2	
80歳以上	55	53	66	54	40	44	46	35	36	24	22	10	16	12	9	3		

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2017								直近5週間 合計	2016/2017 シーズン合 計
		14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週		
提出検体数		1	2	1	1	0	2	0	0	3	87
A 亜型	AH1pdm09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	AH3亜型	0	2	0	0	0	0	0	0	0	62
B 型	山形系統	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	ビクトリア系統	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2
合計		1	2	1	1	0	0	0	0	1	67

注1) 2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第18週～2017年第21週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
18	H29.5.1 ~ H29.5.7	レジオネラ症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 梅毒1人		レジオネラ症1人		
19	H29.5.8 ~ H29.5.14			レジオネラ症1人			梅毒1人
20	H29.5.15 ~ H29.5.21	つつが虫病1人 後天性免疫不全症 候群2人	梅毒1人			梅毒2人	
21	H29.5.22 ~ H29.5.28	つつが虫病1人 梅毒2人		つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人		

VIII 結核(二類全数把握疾患)（2017年第18週～2017年第21週） (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
18	H29.5.1 ~ H29.5.7			1			
19	H29.5.8 ~ H29.5.14	4		2	1		
20	H29.5.15 ~ H29.5.21	1	2	1		1	1
21	H29.5.22 ~ H29.5.28		3	3			

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第20週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокウス症	オウム病
累積報告数	8099	1	57	388	14	6	146	118	14	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	16	1	66	70	27	1	1	12	1

分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	441	3	398	111	532	297	3	68	229	488

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん
累積報告数	28	152	12	1584	99	1837	54	26	29	34

分類	五類	五類
疾病名	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	163	11

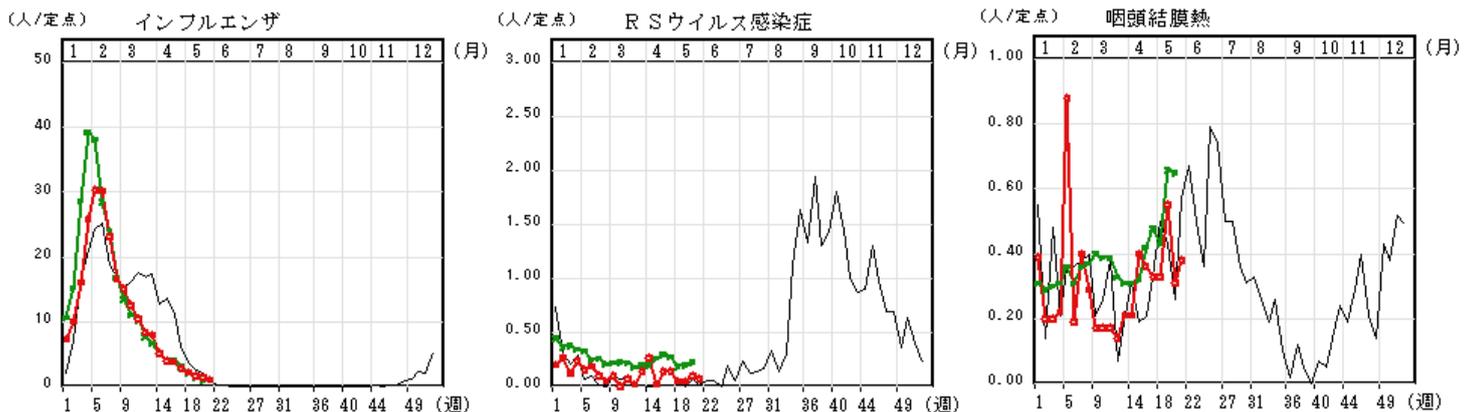
青森県（2017年第21週までの累計）

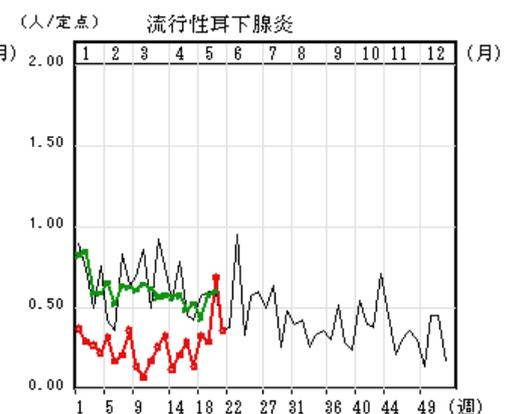
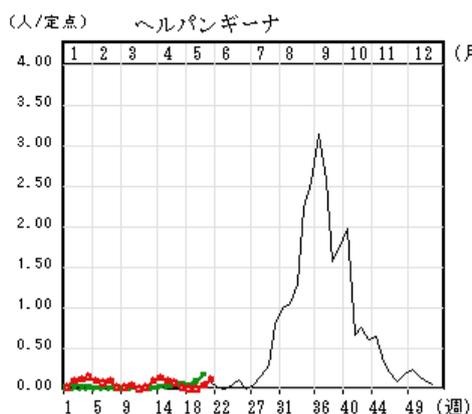
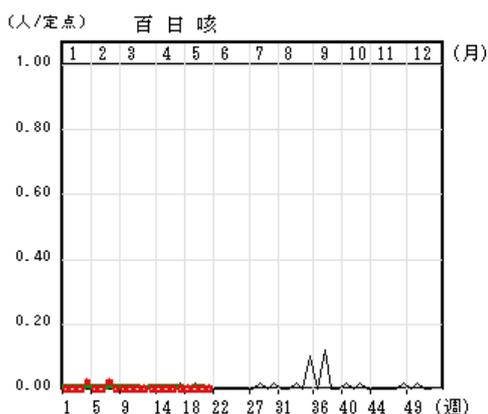
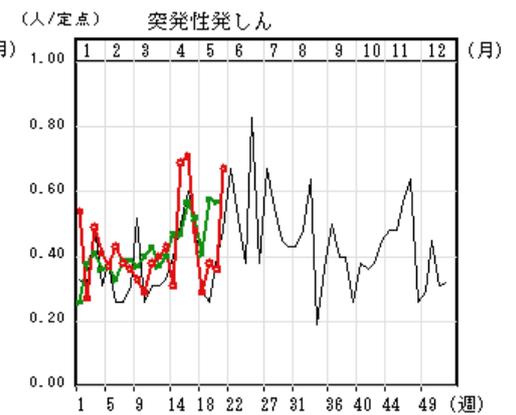
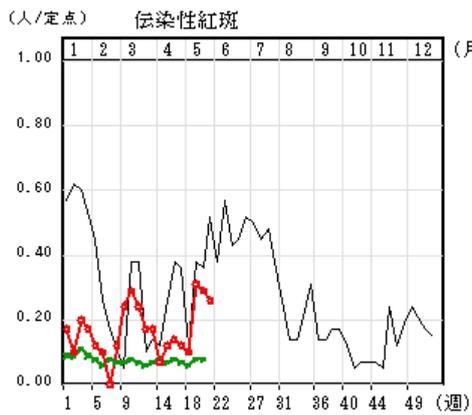
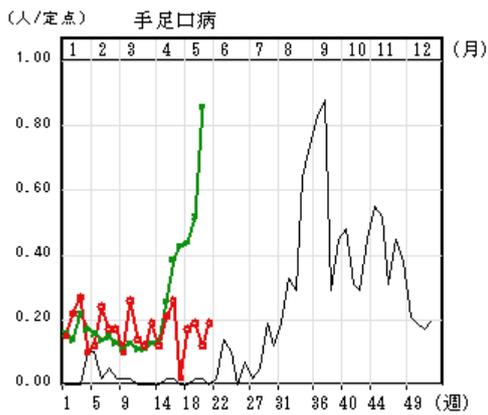
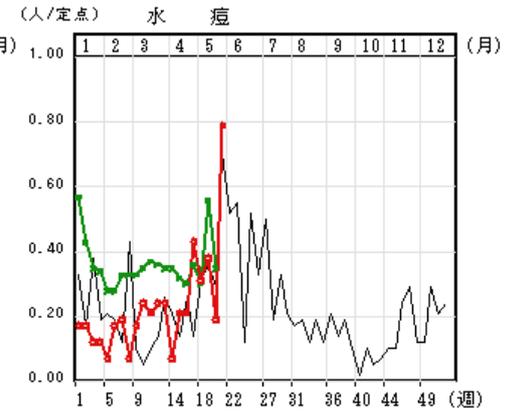
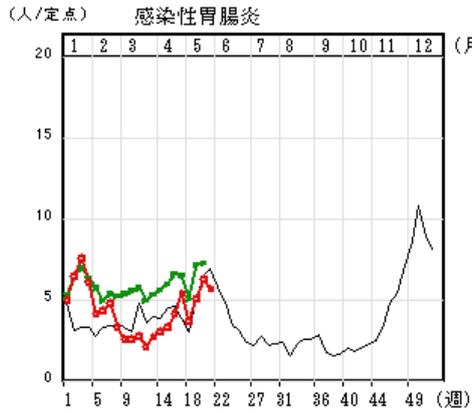
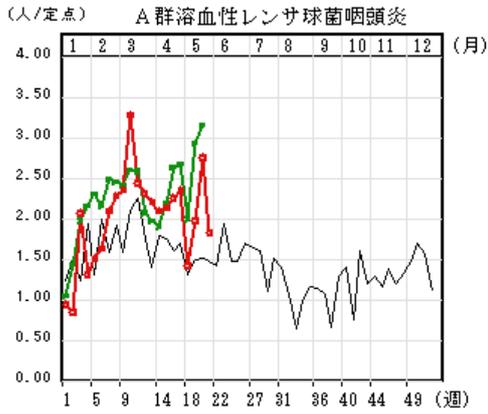
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	121	5	4	1	4	6	2	6	1	1

分類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	5	4	33

X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第21週、ただし全国は前週）

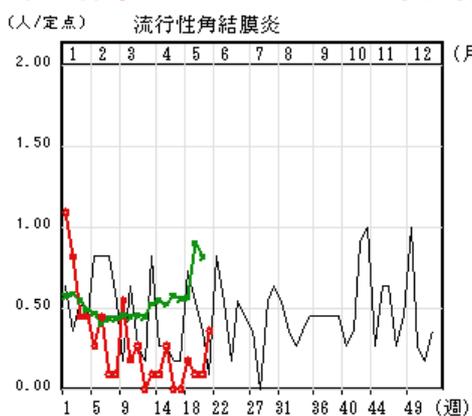
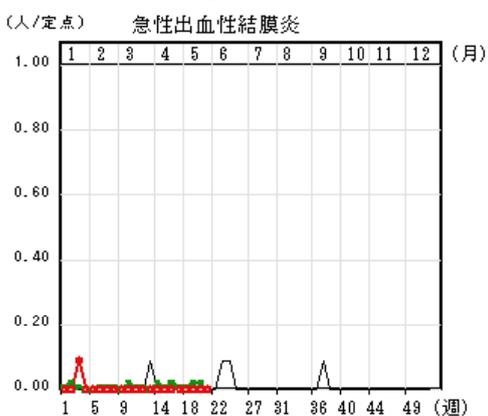
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





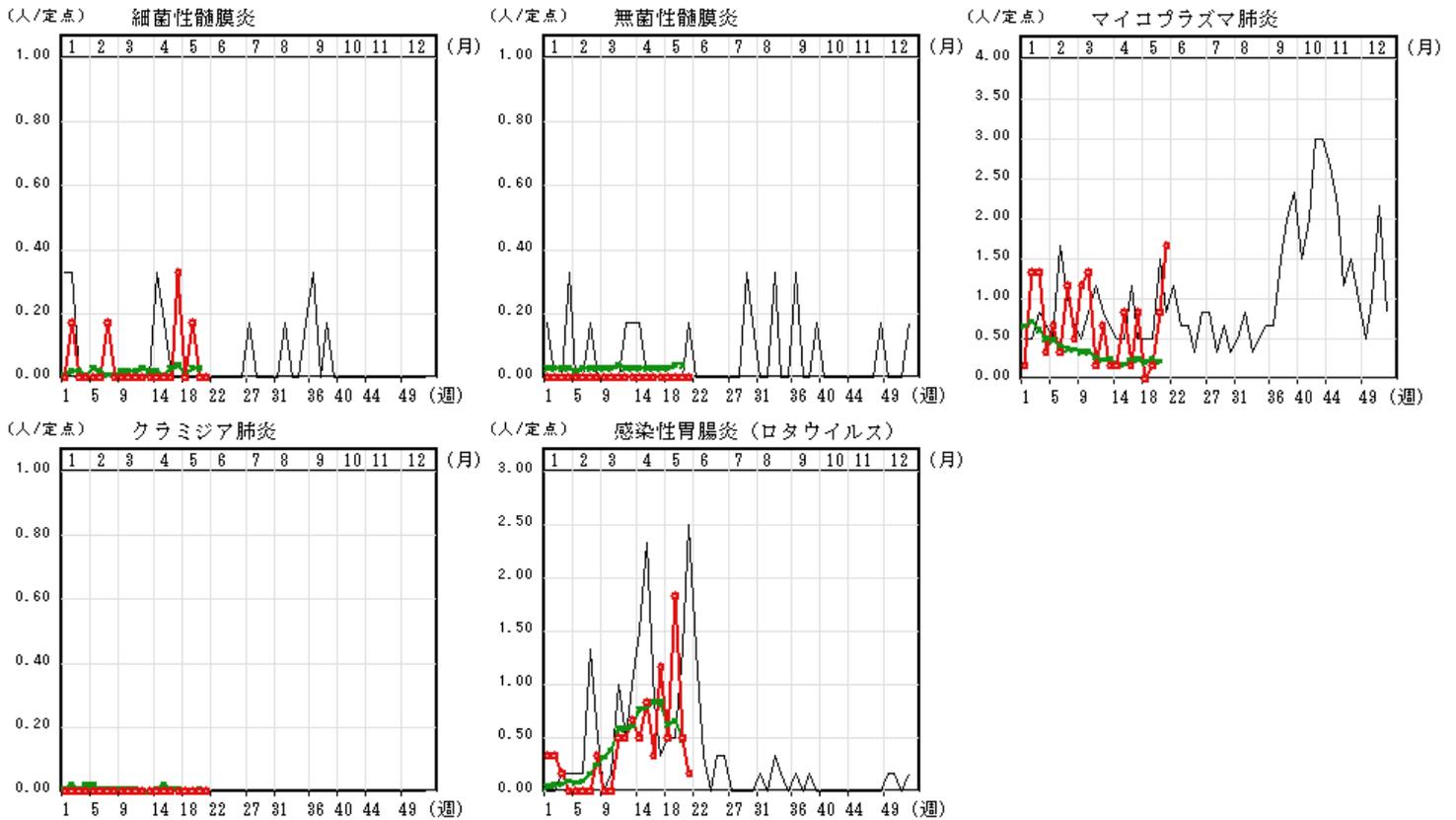
XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第21週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XII 基幹定点把握疾患週別推移（2017年第21週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第21週

報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18週	19週	20週	21週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	0	2	0	0	6
	発症者数	13	48	14	0	0	44	0	0	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	0	2	0	0	9
	発症者数	13	103	14	38	0	44	0	0	212